

最大 10 % のエタノール (E10) を含むガソリンは、本機に使用できます。 10 % 超のエタノール (E10) 含有ガソリンの使用は、製品保証の対象外となります。

取扱説明書 TS 238



Japanese

589 24 27-79



本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

1	安全注意事項	3
2	組み立て	6
3	機能説明	9
4	始動前に	12
5	運転	13
6	メンテナンス、調整	16
7	トラブルシューティング	24
8	保管	34

弊社は、予告なく変更を加える権利を有します。

製造者
Husqvarna AB
SE-561 82
ハスクバーナ、スウェーデン

取扱説明書原本は英語です。その他の言語は訳文です。



1. 安全注意事項



乗用芝刈機の安全な操作

重要: この刈取機には、手足を切断することや、物体を飛ばすことがあります。安全注意事項に従わないと重傷や死に至る可能性があります。

I. トレーニング

- この取扱説明書をよくお読みください。装置の制御や適切な使用方法に習熟してください。
- 子供や使用方法に習熟していない人に、芝刈機を使用させないでください。居住地の法規によっては、使用者の年齢制限がある場合があります。
- 人、特に子供やペットが近くにいるときに、決して芝刈をしないでください。
- 周囲の人や財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、作業員または使用者にあることを常に意識してください。
- 人を乗せて運ばないでください。
- すべての運転者は、専門的で実践的な指示を受けて確認する必要があります。運転者への指示では、次の事項に注意する必要があります。
 - 本機に乗って作業するには、注意と集中が必要であること。
 - 斜面を滑る際は、ブレーキで本機の乗車態勢を制御できないこと。

制御を失う主な理由には、次のものが挙げられます。

- ホイールの足場がしっかりしていない。
- 運転速度の出しすぎ。
- 不適切なブレーキがけ。
- 機械の種別が作業に適していない。
- 地面の状態、特に斜面の影響についての認識不足。
- 不適切なヒッチングや負荷配分。

II. 準備

- 火災発生の危険を減らすために、使用前、給油時、各芝刈セッション後に、点検を実施し、トラクター、芝刈機、すべてのガードの後ろに溜まった異物を取り除いてください。
- 芝刈中は、常に頑丈な履物と長ズボンを身に着けてください。裸足やオープンサンダルを履いて装置の操作をしないでください。
- 装置を使用する場所を徹底的に点検し、本機によって飛ばされる恐れのあるものを取り除いてください。
- 警告 - ガソリンは非常に引火性が高くなっています。
 - 燃料は専用に設計された容器に保管してください。
 - 給油は戸外で実施し、給油中は喫煙しないでください。
 - エンジン始動前に燃料を補給してください。エンジン始動中またはエンジンが加熱している間に、燃料タンクのキャップをはずしたりガソリンを補給したりしないでください。
 - ガソリンがこぼれた場合は、エンジンを始動しようとしないで、ガソリンのこぼれた場所から本機を移動させ、ガソリンが揮発してしまうまで、点火操作は避けてください。
 - すべての燃料タンクを元の場所に返し、容器のキャップをしっかり締めてください。
- 不具合のあるサイレンサを交換してください。
- 使用前に常に目視点検し、ブレード、ブレードボルト、カッターアセンブリが摩耗または損傷していないことを確認してください。バランスを取るために、摩耗または損傷したブレードとボルトはセットで交換します。
- マルチブレード機では、1つのブレードが回転するとその他のブレードも回転するため、注意してください。

III. 操作

- 危険な一酸化炭素ガスの発生する恐れのある閉鎖空間で、エンジンを作動しないでください。
- 日光または十分な人工光のもとで刈取り作業を行ってください。
- エンジン始動前に、すべてのブレード装着クラッチをはずし、シフトをニュートラルに入れます。
- 15°超の傾斜地では使用しないでください。
- 「安全な」傾斜地はありません。草地の傾斜地での移動には細心の注意が必要です。転倒から身を守るには、次の点に注意してください。
 - 傾斜地の上り下りでは、急停止や急発進しないこと。
 - ゆっくりクラッチをつなぎ、常に(特に傾斜地の下りでは)本機のギアがつながっているようにすること。
 - 傾斜地や小回りの際は、本機を速度を低速に保つこと。
 - でっぱりやくぼみ、その他の危険に対する注意を怠らないこと。
 - 芝刈機が傾斜地専用に設計されていない限り、決して傾斜地面での芝刈はしないこと。
- 引き荷や重い装置を使用する際は、注意を払うこと。
 - 認証済みの牽引バーヒッチ点を使用すること。
 - 安全に制御できる負荷に制限すること。
 - 急旋回を避けること。後退の際は、注意を払ってください。
 - 取扱説明書に推奨されている場合は、カウンターウェイトやホイールウェイトを使用すること。
- 道路を横切ったり近づく際は、交通に注意してください。
- 草地以外を通る際は、ブレードの回転を停止してください。
- アタッチメントを使用している場合は、近くにいる人に向かって刈取物を直接排出したり、操作中に本機のそばに人を近づけたりしないでください。
- 欠陥ガードやシールドを取り付けたり、安全保護装置を適所に設置しないで芝刈機を操作しないでください。
- エンジンの調速機設定を変更したり、エンジンを過回転させたりしないでください。エンジンの過回転により人的傷害の危険性が高まります。
- 操作位置を離れる前に次のことを実施します。
 - 動力テイクオフを切り、アタッチメントを下げる。
 - ニュートラルにし、駐車ブレーキをかける。
 - エンジンを停止して、キーを取り外す。
- 次の場合は、アタッチメントへのドライブを切り、エンジンを止め、スパークプラグワイヤを外すか、イグニッションキーを取り外します。
 - 詰まったものを掃除したり、シュートの詰まりを取り除く前。
 - 芝刈機の点検、清掃、作業前。
 - 異物にぶつかった後、芝刈機に損傷がないか点検し、修理してから、装置を再始動し作動させます。
 - 本機に異常な振動が生じた場合(速やかに点検します)。
- 輸送時や使用しないときは、アタッチメントへのドライブを切ります。
- 次の場合はエンジンを停止し、アタッチメントへのドライブを切ります。
 - 給油前。
 - グラスキャッチャーを取り外す前。
 - 運転位置からの調整が不可能な高さ調整を行う前。
- エンジンの燃料切れの間はスロットルを減じ、エンジンに遮断弁が付いている場合は、芝刈完了時に燃料を止めます。



警告: 子供はこの装置によって怪我をする恐れがあります。米国小児科学会は、歩行制御芝刈機の操作は 12 才以上、乗車芝刈機の操作は 16 才以上を推奨しています。

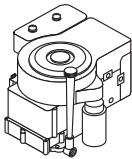
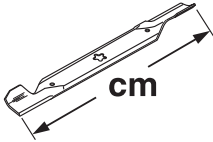
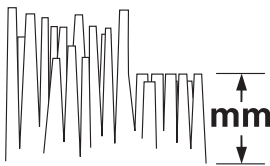
- 本機の積み込み、積み下ろしの際は、推奨の操作角度 15°を超えないようにしてください。
- 本機操作の際は、(最低)丈夫な履物、防護メガネ、イヤマフを含む適切な身体保護具を身に付けてください。短パンやつま先の開いた履物で芝刈をしないでください。
- 戸外で芝刈に従事するときは、常にその旨を誰かに伝えてください。

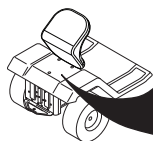
IV. メンテナンスと保管

- すべてのナット、ボルト、ネジをしっかりと締め、装置が安全に作動する状態であることを確認してください。
- タンクにガソリンを入れた状態で装置を屋内に保管しないでください。揮発したガソリンが火気や火花を引き起こす可能性があります。
- 構内に保管する前にエンジンを冷やしてください。
- 火災の危険を減らすため、エンジン、サイレンサ、バッテリー室、ガソリン保管場所の近くに、草、葉、過剰なグリースを置かないでください。
- グラスキャッチャーに摩耗や劣化がないか、頻繁に確認してください。
- 安全のため、摩耗または破損した部品は取り替えます。
- 燃料タンクから燃料を排出する場合は、屋外で行う必要があります。
- マルチブレード機では、1 つのブレードが回転するとその他のブレードも回転するため、注意してください。
- 本機を駐車、保管、無人で放置する場合は、確実なメカロックを使用しない限り、切断部分を下げてください。



警告: 設定、輸送、調整、修理の際は、不要な始動を避けるために、常にスパークプラグワイヤの接続を外し、ワイヤをスパークプラグに触れない場所に置いてください。

	TS 238
 hp/kw*	11.93/8.90
 km/h	0 - 6.7
 cm	97
 mm	38 - 102
 KG	200



MODEL	PNC	ML	SERIAL NO.
CATALOGUE NO.	KW	KG	RPM

ASSEMBLED IN USA
ORANGEBURG, SC 29116
2005

D

これらの記号は、本機または製品同梱の印刷物に表示されています。これらの意味を知り、理解してください。

R

反転

N

ニュートラル

H

HIGH (高)

L

LOW (低)



高速



低速



点灯



イグニッション



エンジンオフ



エンジンオン



エンジン始動



ROS オン



駐車ブレーキ



アンロック



ロックされた駐車ブレーキ



寒冷始動位置



燃料



油圧



反転



進む



芝刈機高さ



クラッチ装着中



クラッチ装着なし



注意



飛来物に注意



そばに人がいないように
すること



警告



高温の表面に注意



牽引バーの装填



ブレーキ／クラッチペダル



取扱説明書をお読みください



イヤマフ装着を推奨します。



バッテリー



15° 超の傾斜地での操作不可



芝刈機リフト



危険ですので、手足を離してください



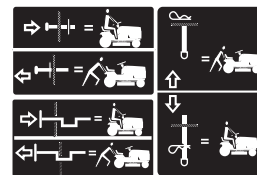
安全に操作するために取
扱説明書を参照のこと。



異物の蓄積による火災発
生の危険



注意：芝刈中は、デフレクターシールドやガラスキャッチャー全体を指定の位置に設置のこと



フリーホイール



警告：エンジン取扱説明書－
火災－有害ガスの項参照のこと



注意：手指の巻き込み－ドライブベルト

危険／毒



目の保護。
爆発性のガスにより
失明の危険があります。



いいえ
・ 火花
・ 火炎
・ 喫煙



硫酸は
失明や重度の火傷を起こす
恐れがあります。



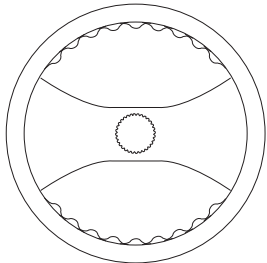
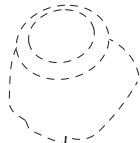
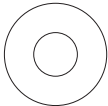
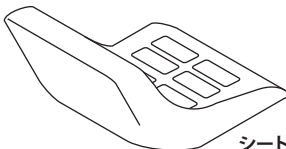
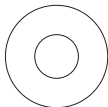
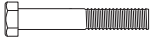
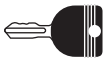
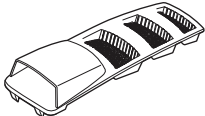
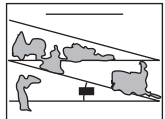
すぐ目を水で洗浄してくだ
さい。急いで医者に診せてく
ださい。

子供の手の届かない場所に保管してください。傾けないでください。バッテリーを開けないでください！

2. 組立

未組み立て部品

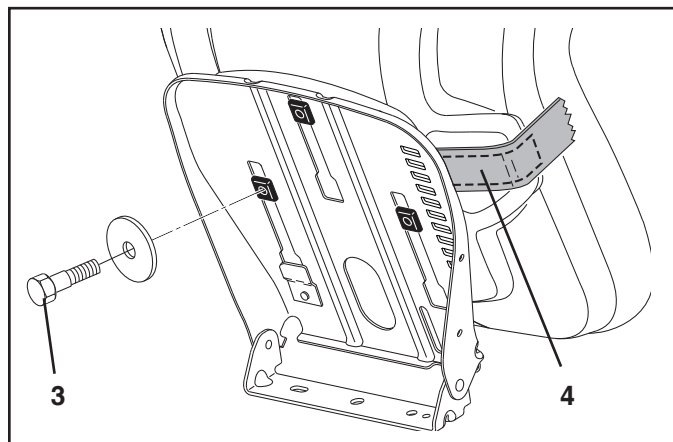
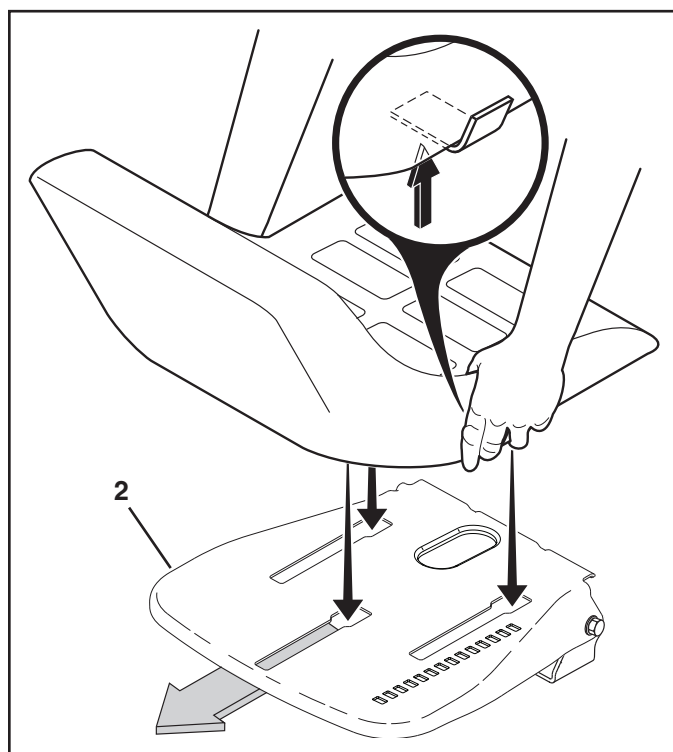
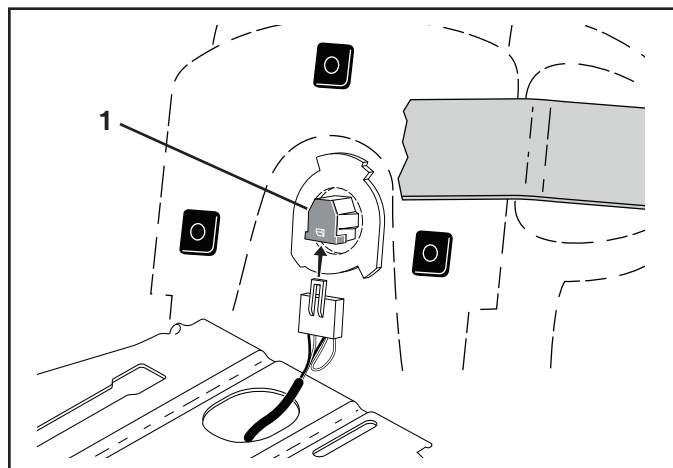
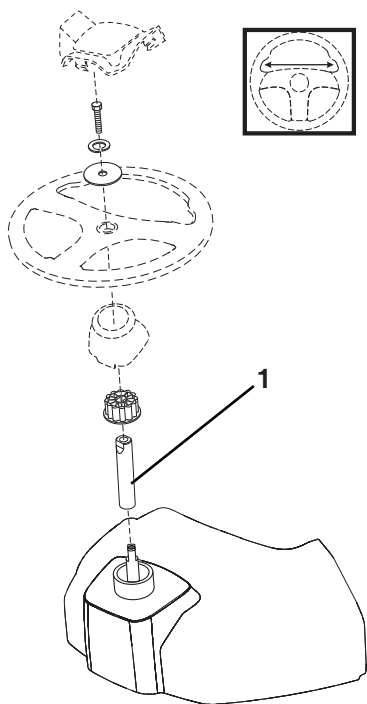
トラクターを使う前に、いくつかの部品を組み立てる必要があります。輸送用部品も同梱されています。

ステアリング  ステアリングホイール  ステアリングホイールはめ込み部  ステアリングブーツ  ステアリング延長シャフト  六角ボルト  ステアリングホイールアダプター  平ワッシャー  ロックワッシャー	シート  シート  平ワッシャー  六角ボルト	
バッテリー  ボルト  ナット	キー 	* ディーラーで取り付け済 * ブラシガードキット
 フードスクープ  オイルドレンチューブ  傾斜シート		

ステアリングホイール

- 延長シャフトを取り付けます (1)。
- メインシャフトカバーを取り付けます。カバーのガイドタブが、各穴のカバーに合うようにします。
- ステアリングホイールからステアリングホイールアダプターをはずし、アダプターをステアリングシャフトの方へすべらせませす。フロントホイールが前側にあることを確認し、ホイールをハブに置きます。
- 大きい平ワッシャー、ロックワッシャー、ボルトを組み付けます。しっかり締めます。
- ステアリングホイールの中心にカチッと挿入します。

1. 延長シャフト



座席の設置

座席を段ボールに留めてある金具をはずし、座席をトラクターに組み付けるためにその金具を取っておきます。

段ボール梱包材をはずして廃棄します。

調整レバー (4) の上に貼ってあるテープを取って廃棄します。

注意：フレックスコネクターが、座席ホルダーの安全スイッチ (1) に正しく接続されていることを確認してください。

座席底面 (2) の大きいスロット穴の上に座席のパッドが位置するように、座席を座席底面に置きます。

パッドがスロットにはまるように座席押し下げ、座席をトラクターの後方に引っ張ります。

ボルトをしっかり締め込みます (3)。

座席の調整

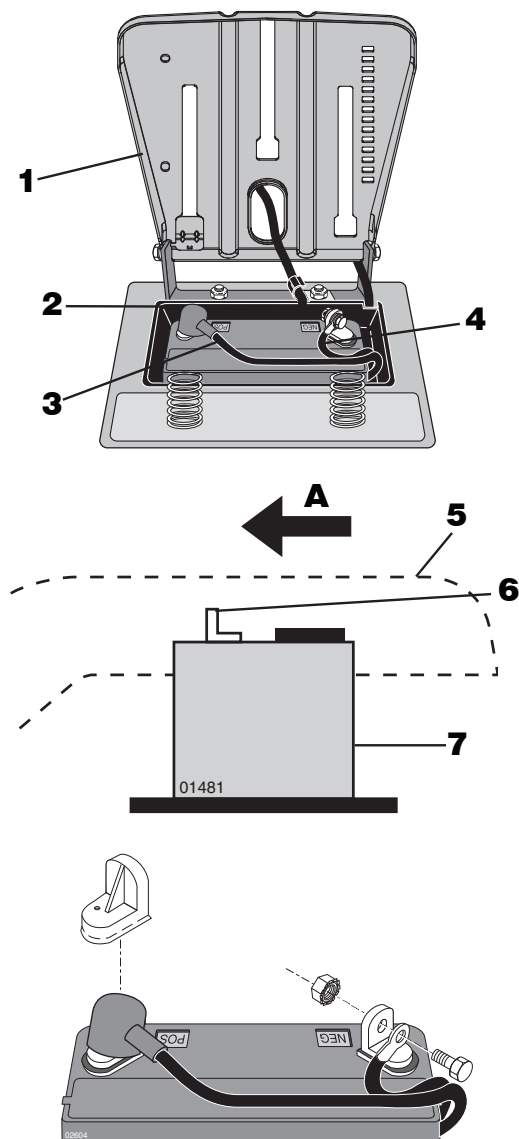
調整レバー (4) を持ち上げ、常にクラッチ／ブレーキを踏み込める、ちょうどいい位置まで座席をスライドさせます。レバーを離し、座席をその位置に固定します。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 座席底面 | A. トラクター前面 |
| 2. ターミナルカバー | 5. フェンダー |
| 3. ケーブル(+) | 6. バッテリー端子 |
| 4. ケーブル(-) | 7. バッテリー |

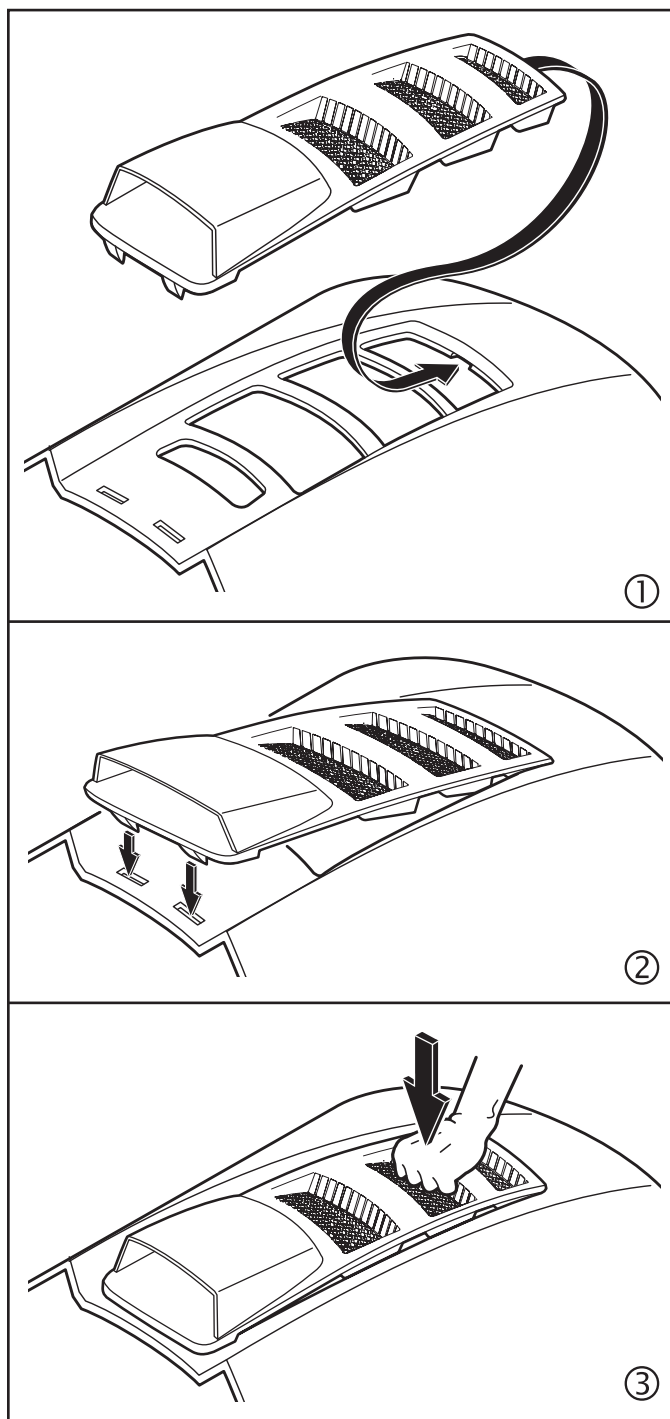
バッテリーの設置

注意: バッテリーをラベル表示の年月後に使用する際は、6～10アンペアで最低1時間バッテリーを充電してください。

警告: バッテリー設置の前に、身に着けている金属製のブレスレット、腕時計バンド、リング等はずしてください。これらのものがバッテリーに接触すると火傷の恐れがあります。



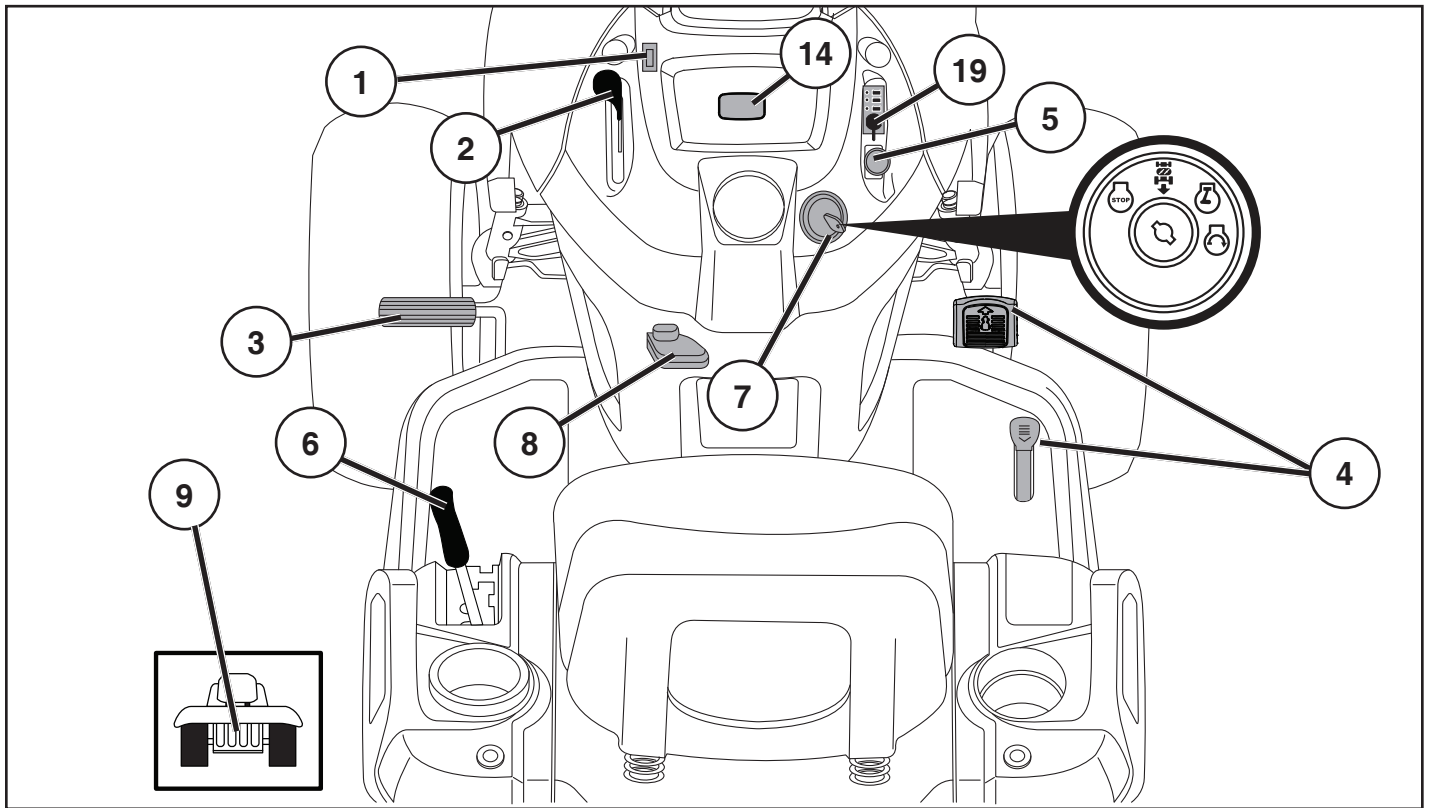
排気フードの取り付け



警告: 不用意な接触による火花を防止するために、まずプラス端子を接続する必要があります。

端子のキャップを外して廃棄します。赤色のケーブルを(+)につなぎ、黒色のアースケーブルを(-)につなぎます。ケーブルをしっかりと締め込みます。バッテリーケーブルにワセリンを塗布し錆を予防します。

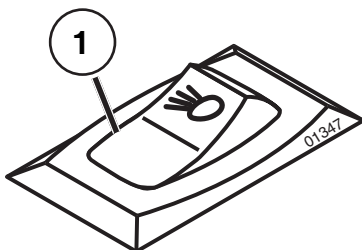
3. 機能説明



制御装置の位置

1. ライトスイッチ
2. スロットルコントロール
3. ブレーキおよびクラッチペダル
4. 前進／後退駆動ペダル
5. アタッチメントクラッチスイッチ
6. カuttingユニットの迅速な揚げ／降ろし
7. イグニションロック
8. 駐車ブレーキ
9. フリーホイールコントロールレバー
14. 保守点検管理／時間計
19. バッテリーインジケータ／充電プラグ

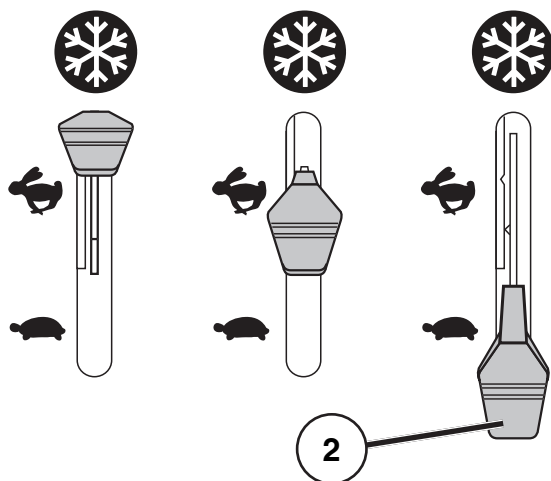
1. ライトスイッチ



2. スロットルコントロール

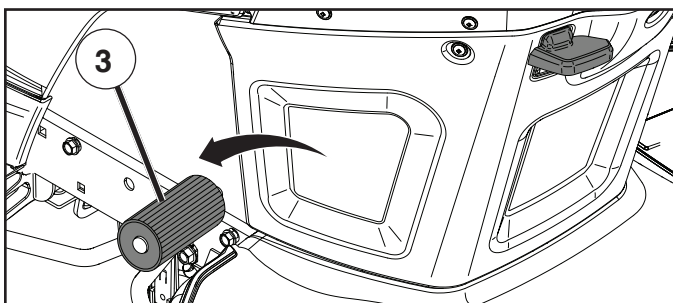
スロットルコントロールはエンジン回転を制御し、それによりブレードの回転速度を制御します。

- = 最高速度
- = アイドリング速度
- = 寒冷始動位置



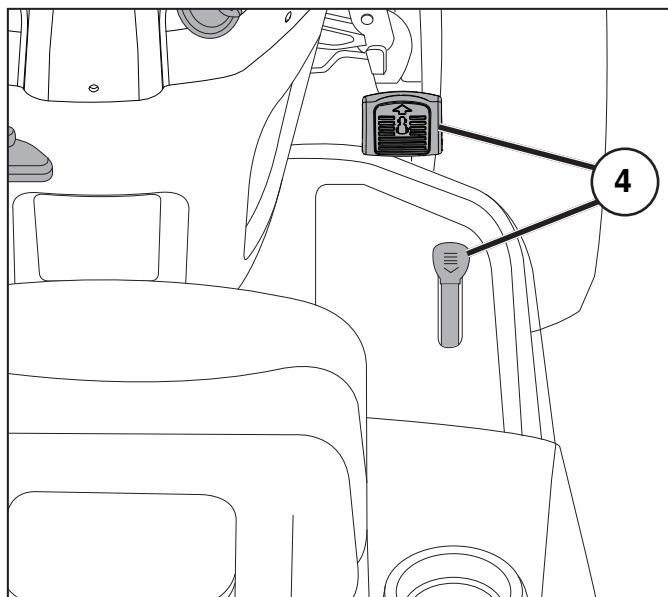
3. クラッチ／ブレーキペダル

クラッチをはずし、トラクターのブレーキをかけ、エンジンを始動するために使用します。

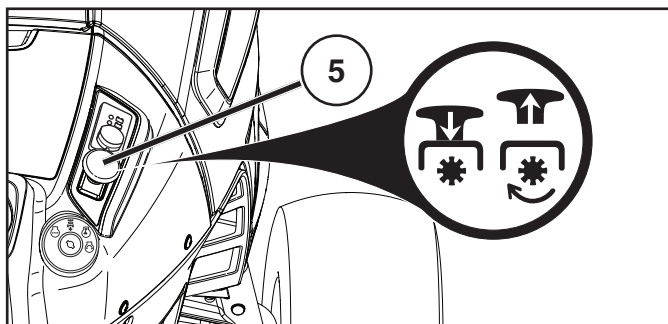


4. 前進／後退駆動ペダル

移動方向と速度は前進／後退駆動ペダルによって制御されます。

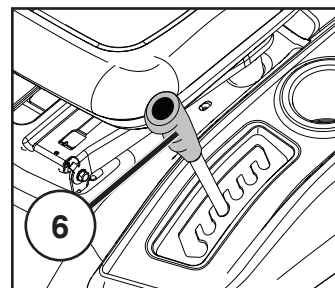


5. アタッチメントクラッチスイッチ



6. カuttingユニットの迅速な揚げ／降ろし

レバーを後方に引くと、芝の凹凸を超える時などにすばやくカuttingユニットを持ち上げられます。輸送中はカuttingユニットを一番高い位置にしてください。レバーをロックするまで後ろに引きます。



7. イグニッションロック

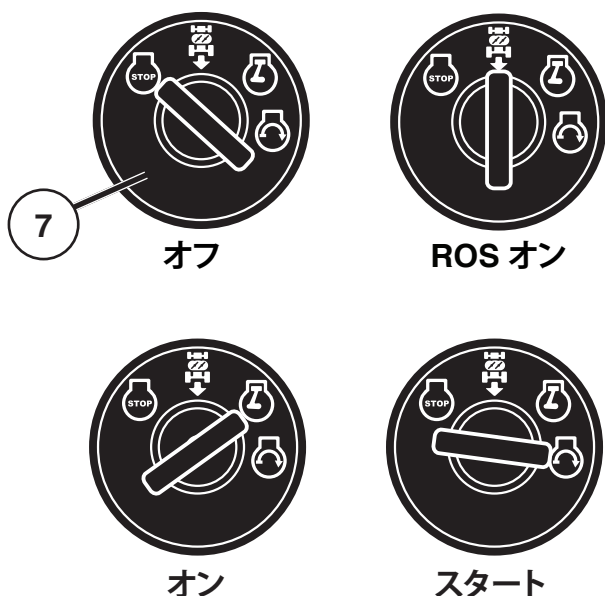
イグニッションキーには次の4つの位置があります。

- | | |
|--------|--------------------|
| OFF | すべての電流切断。 |
| ROS ON | 後退操作システム (ROS) 接続。 |
| ON | 電流接続。 |
| START | モーター始動接続。 |

後退操作システム (ROS) - 後退中での、芝刈機デッキなどの動力アタッチメントの操作を可能にします (第5章「運転」の項参照)。

警告!

本機を無人にする際は、決してイグニッションロックにキーを残したままにしないでください。

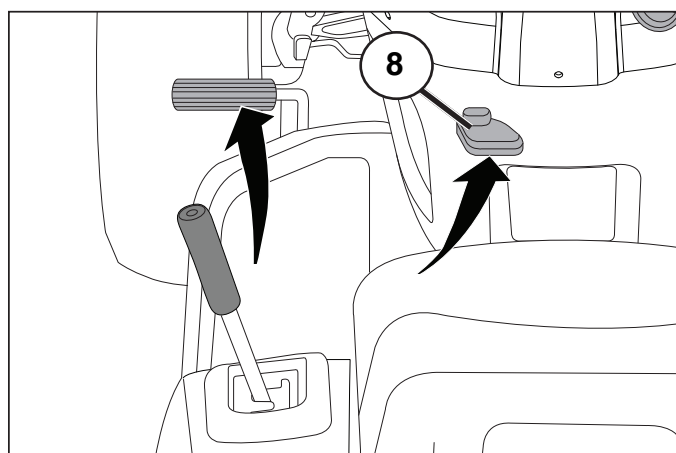


8. 駐車ブレーキ

次の手順で駐車ブレーキを接続します。

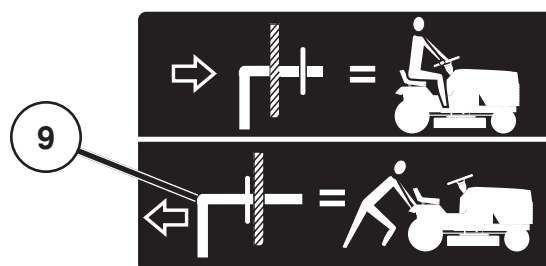
1. ブレーキペダルを低位置に押し下げます。
2. 駐車ブレーキレバーを上へ動かし、その位置に保持します。
3. ブレーキペダルを放します。

駐車ブレーキの解放に必要なことは、ブレーキペダルを踏み込むことです。



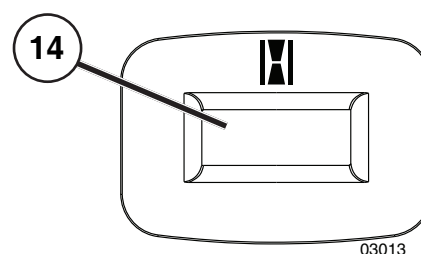
9. フリーホイールコントロールレバー

トラクターをエンジンの助けを借りないで、前輪立ちさせたり移動させたりするには、フリーホイールコントロールノブを引いて適切な位置にロックする必要があります。



14. 保守点検管理/時間計

エンジンおよび芝刈機の点検必要時期を表示します。



19. バッテリーインジケータ/充電プラグ

バッテリーインジケータはバッテリーの状態を表示します。インジケータには3色の異なるライトがあります。

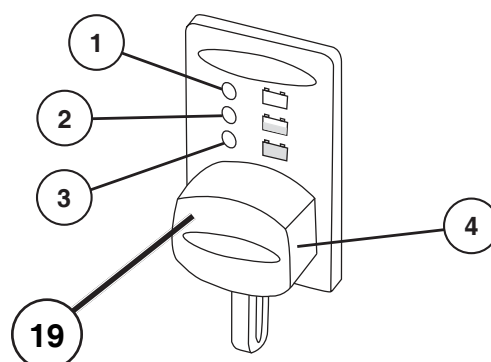
- | | |
|------|------|
| 1. 赤 | 充電要 |
| 2. 黄 | 充電推奨 |
| 3. 緑 | 充電不要 |

注意: 正しく充電表示されるようにバッテリー使用後 30 分待ってください。

充電プラグ (4) からバッテリーを充電できます。

警告: 充電プラグ (4) は、0.8 ~ 10 アンペア、12 ボルト CTEK 充電器にのみ対応していますので、この仕様の充電器のみを使用してください。

入手可能な充電器については、お住まいの地域のディーラーにご相談ください。



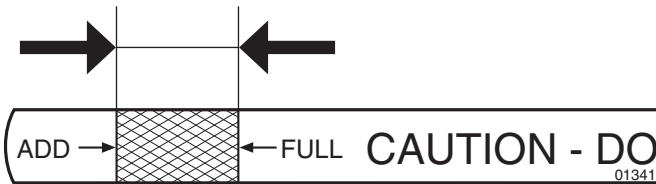
4. 始動前に

給油

エンジンには(オイルの混合されていない)純粋な無鉛ガソリンを使用します。給油穴の下端を超えて給油しないでください。最大レベルを超えて給油しないでください。

警告!

ガソリンは、引火性が高い燃料です。戸外で注意を払ってガソリンを給油してください。ガソリンの給油中は喫煙しないでください。エンジンが熱い場合は給油しないでください。タンクを満タンにしないでください。ガソリンが膨張して溢れます。給油後は必ずガソリンキャップをしっかりと締め込んでください。ガソリンは、エンジン燃料用の適切な容器に入れて冷所に保管してください。ガソリンタンクとパイプを点検してください。



油面

ボンネットを前に持ち上げると、検油棒付オイル給油キャップにアクセスできます。運転開始前はいつもエンジンの油面をチェックしてください。トラクターが水平になっていることを確認してください。検油棒をはずし、きれいに拭きます。検油棒を元に戻し、しっかりとネジ留めします。再度取り外して油面をチェックします。

油面の高さは、検油棒の2つのマーク間に収まる必要があります。オイルが足りない場合は、SAE 30 オイルを「FULL」マークまで追加します。冬季(氷点下)には、SAE 5W-30 オイルを使用してください。



タイヤの空気圧

タイヤの空気圧を定期的に点検してください。タイヤはタイヤ表面に表示の PSI 空気圧を適切に保つ必要があります。

5. 運転

モーターの始動

トラクター搭載の Briggs & Stratton 耐久エンジンは、素早い始動の自動チョークシステムを装備しており、通常の状態ですぐに始動します。次の始動についての説明をよくお読みください。

エンジンを最初に始動する際、またはエンジンの燃料が空になった場合は、燃料をタンクからエンジンに移すためのクラック時間が余分にかかります。

操作位置で座席に座り、ブレーキペダルを踏み込み、駐車ブレーキを欠けず、カッティングユニットが搬送位置にあり、カッティングユニットの接続／解除のためのクラッチ装着コントロールが解除の位置にあることを確認します。

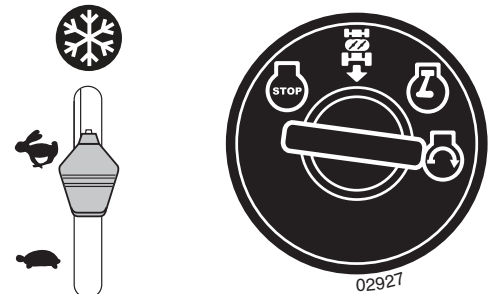


標準始動 (0°C 以上)

- スロットルコントロールを高速位置 (🏎️) に動かし、カチッとします。

⚠️ 注意: 1 分につき 15 秒以上続けてスタータを作動しないでください。数回試みてもエンジンが始動しない場合は、数秒待って再試行してください。

- キーをイグニッションに差し込み「START」の位置まで時計方向 (🕒) に回し、エンジンが始動したらすぐにキーを離します。
- エンジンが始動すると、アタッチメントとグラウンドドライブが使用できるようになります。エンジンが負荷を受け入れず停止した場合は、エンジンを再始動し、暖まるまで 1 分間待ちます。
- 芝刈中はスロットルコントロールを高速位置 (🏎️) に開放します。

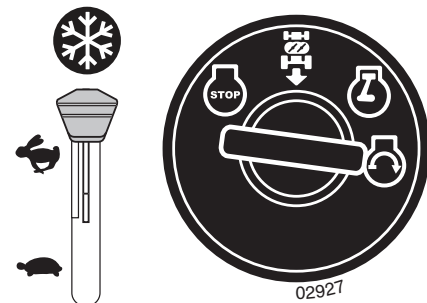


寒冷始動 (0°C 以下)

- スロットルコントロールの位置を高速位置を超えて寒冷始動位置に動かします (❄️)。

⚠️ 注意: 1 分につき 15 秒以上続けてスタータを作動しないでください。数回試みてもエンジンが始動しない場合は、数秒待って再試行してください。

- キーをイグニッションに差し込み「START」の位置まで時計方向 (🕒) に回し、エンジンが始動したらすぐにキーを離します。
- エンジンが始動したら、スロットルコントロールの位置を高速位置 (🏎️) に戻して暖機します。暖機に必要な時間は、条件や気温により数秒から 1 分ほどかかります。
- 芝刈中はスロットルコントロールを高速位置 (🏎️) に開放します。



トランスミッションのパージ

適切な作動と性能を得るために、トラクターを最初に操作する前にトランスミッションをパージすることをお勧めします。この手順により、トラクターの輸送中に発生した可能性のあるトランスミッション内にたまった空気を取り除きます。

重要： 保守点検や交換のためにトランスミッションを取り外した時は、再設置後トラクターの操作前に、パージをしなければなりません。

- 水平面にトラクターを駐車し、どの方向にも転がらないようにする。次の手順のために駐車ブレーキを解除しなければなりません。
- フリーホイールコントロールをフリーホイール位置に入れ、トランスミッションを解除する。
- エンジンを始動し、スロットルコントロールを低速の位置に動かす。駐車ブレーキが解除されていることを確認してください。
- 駆動ペダルを前進一杯に踏み込み 5 秒間保ってからペダルを離す。• 駆動ペダルを後退一杯に踏み込み 5 秒間保ってからペダルを離す。この手順を 3 回繰り返す。
- イグニッションキーを「OFF」の位置に回してトラクターを停止させる。
- フリーホイールコントロールをドライブ位置に入れ、トランスミッションをつなぐ。
- エンジンを始動し、スロットルコントロールを低速の位置に動かす。
- トラクターを約 5 フィート前進させた後、5 フィート後退させる。この運転操作を 3 回繰り返す。
- これでトラクターは通常運転の準備完了。

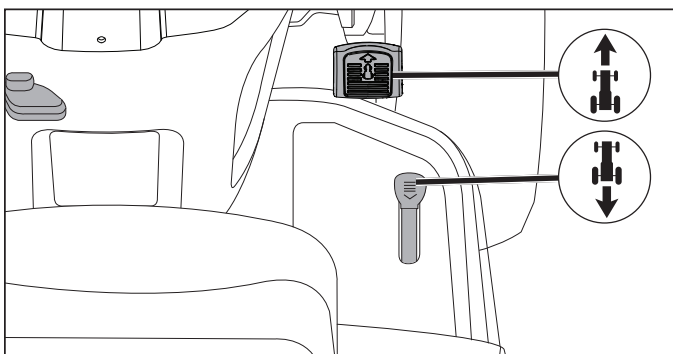
注意！

本機には安全スイッチが装備されているため、エンジンをかけ、接続／解除コントロールの位置が「接続」のまま運転者が座席を離れた場合は、すぐにエンジンへの電流供給が止まります。

前進と後退

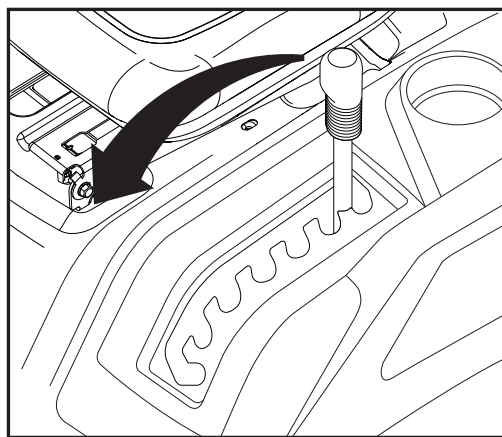
移動方向と速度は前進／後退駆動ペダルによって制御されます。

- トラクターを始動し、駐車ブレーキを解除します。
- ゆっくりと前進または後退ドライブペダルを踏み込み移動開始します。ペダルをより深く踏み込むと、移動速度は増します。



鋸断

リフトレバーを前方に動かしてカッティングユニットを下げ、カッティングユニットを接続します。地面の状態や目的の刈取結果にふさわしい運転速度を選んでください。



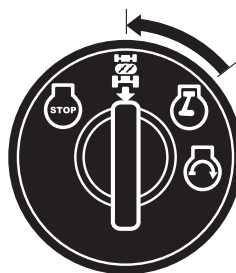
後退操作システム (ROS)

トラクターには後退操作システム (ROS) が装備されています。イグニッションキーがROS「オン」位置に入っていないと、使用者がクラッチ装着中に後退方向に運転しようとしても、エンジンが停止してしまいます。

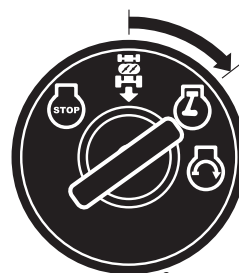
警告！ 芝刈がどうしても上手くいかない場合は、クラッチ装着中にバックアップします。クラッチ装着中に後退操作するために ROS を「オン」にするのは、アタッチメントをつけて本機の方を変える必要があると使用者が決断した場合のみにしてください。どうしても必要でない限り、後退での芝刈はしないでください。

ROS の使用

- エンジンをかけた状態で、イグニッションキーを反時計方向に回して ROS「オン」の位置にします。
- 後退する前に下や後ろを見ます。
- ゆっくりと後退ドライブペダルを踏み込み移動を開始します。
- ROS の使用が必要なくなったら、イグニッションキーを時計方向に回してエンジン「オン」の位置にします。



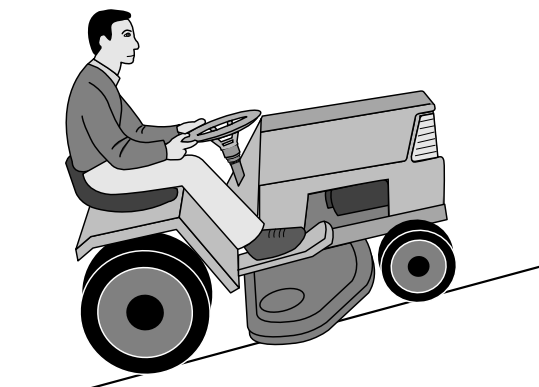
ROS オン



エンジン「オン」
(標準操作)

刈取りのヒント

- ブレードに飛ばされる可能性のある石などの物質をあらかじめ取り除いてください。
- 衝突を避けるために、岩やその他の固定物を見つけてマークを付けておきます。
- 高い刈高で作業を初めて、目的の長さになるまで高さを徐々に下げていきます。
- 高速エンジン速度（ブレード回転が速い）で低速ギア（草刈機がゆっくり進む）の場合、最適な刈り取りを行えます。草がそれほど長くなく生い茂っていない場合は、もう少し速いギアを選択するかモーター速度を上げて運転速度を増しても、刈取結果に影響が出ません。
- 高い頻度で草を刈っている場合に、最高品質の芝が実現されます。カッティングはより均等になり、刈り取られた草はより均等に地表面に配置されます。刈取結果に影響を与えないで、より速い運転速度を選択できるので、合計時間は増えません。
- 湿った草の刈り取りは避けてください。車輪が柔らかい芝地に沈み込み、刈取結果は悪くなります。
- 使用後はカッティングユニットの下から水を散布してください。



警告!

- 最大15°超の斜面では運転しないでください。後ろに転倒する危険が大きくなります。
- 急勾配の土地では転倒の危険性が高くなります。
- 傾斜地での停止、始動は避けてください。

エンジンのスイッチオフ

クラッチ装着コントロールを解除位置に入れます。スロットルコントロールを高速位置に入れます。カッティングユニットを持ち上げ、イグニッションキーを「STOP」位置まで回します。

注意

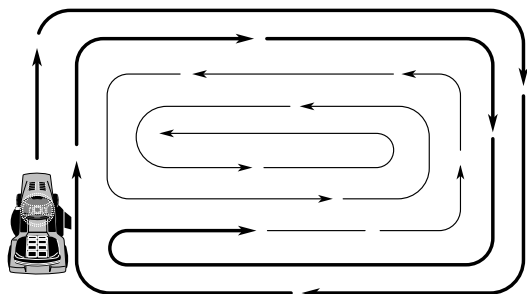
寒冷始動位置でエンジンを停止しないでください。



警告!

子供や承認を受けていない人がエンジンを始動しないために、本機を使用しない時はイグニッションキーを本機から外してください。

刈り取った草が花壇や小道などの外に出されるように、右回りで運転します。より広い芝地では、下図のように2～3回転ごとに運転方向を変え、刈り取った草が刈り取り済みの場所に向かって出されるようにします。



木、茂み、小道などの近くを刈り取るには、本機の左側を使用します。ブレードが、カバー端の約15mm内側を刈り取ります。

6. メンテナンス、調整

警告!

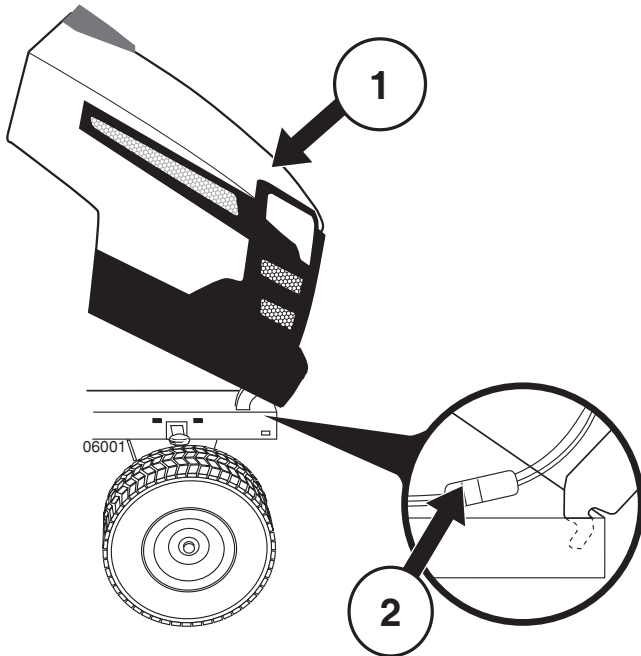
エンジンやカッティングユニットの保守点検前に、次の事項を実施してください。

- クラッチ／ブレーキペダルを踏み込み、駐車ブレーキレバーをかける。
- 接続／解除コントロールを解除位置に入れる。
- エンジンをスイッチオフする。
- プラグからイグニッションケーブルを取り外す。

- (1) フード
- (2) ヘッドライト 配線コネクター

エンジンフード

- フードを持ち上げます。
- ヘッドライトの配線コネクターを外します。
- トラクターの前に立ちます。フードの両サイドをつかみ、前へ傾けトラクターから上向きに外します。
- 再び取り付けるには、フードのピボットブラケットをフレームのスロットにスライドさせます。
- ヘッドライトの配線コネクターを再接続してフードを閉じます。



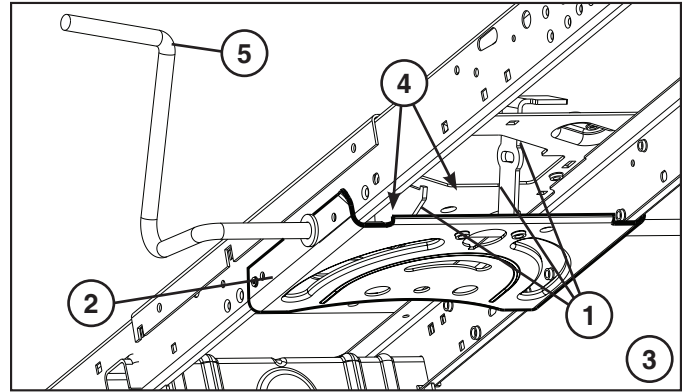
メンテナンス

注意: トラクターを良い運転状態に保つために、忘れずに定期点検を行う必要があります。

警告: 修理、点検、メンテナンスを行う際には、不用意な始動を避けるためにスパークプラグワイヤをはずしてください。

使用前には毎回次の点検を実施してください。

- オイルの点検、必要に応じて注油ピボット点の確認。
- すべてのボルト、ナット、割ピンが適所に存在し、締め込まれていることを確認。
- バッテリー、端子、通気孔の確認。
- 必要ならば 6 アンペアでゆっくり再充電。
- 風よけの清掃。
- エンジンの損傷やオーバーヒートを避けるためにトラクターの泥や屑を取り払う。
- ブレーキ操作の点検。



清掃

エンジンとトランスミッションに水が入らないようにカバーしない限り、庭用ホースや高圧洗浄機でトラクターを清掃することは推奨しません。エンジンやトランスミッションに水が入ると、トラクターの耐用年数が短くなります。トラクターや芝刈機から草、葉、屑を取り除くには、圧縮空気やリーフブロワーをご使用ください。

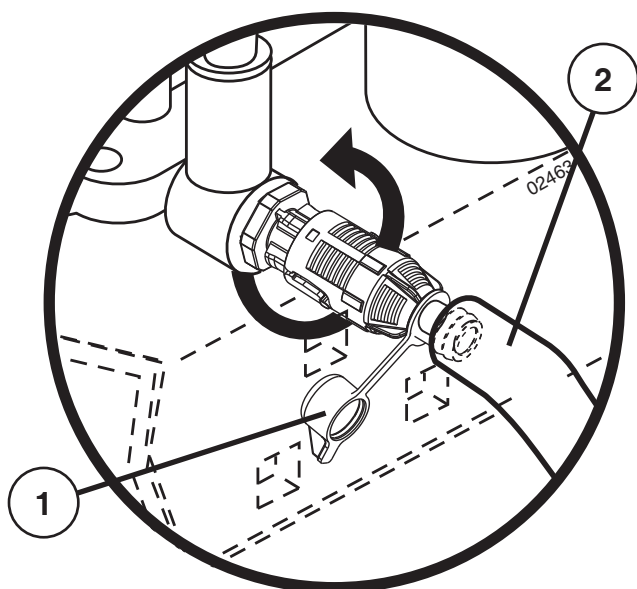
ステアリングプレートの清掃:

- ステアリングプレートから異物を取り除いてください。異物によってクラッチ／ブレーキペダルの動きが制限され、ベルトのスリップや駆動のロスが生じる恐れがあります。

警告: すべてのピンチポイントや可動部を避けてください。

1. 警告 ピンチポイント

2. ステアリングプレート
3. ステアリングシステム、ダッシュ、フェンダー、芝刈機は図示なし。
4. 上側の清掃
5. クラッチ／ブレーキペダル



オイルの交換

オールドレンバルブ

- キャップを外して排油管を取り付ける。
- バルブを開くには、少し押し込み、反時計方向に回して引き抜く。
- バルブを閉じるには、押し込んで時計方向に回す。
- 排油管を外してキャップを取り付ける。

1. キャップ
2. 排油管

保守点検記録

定期点検を完了したら日付を記入してください

	必要に応じて	8 時間ごと	25 時間ごと	50 時間ごと	100 時間ごと	200 時間ごと
エンジンオイルの交換(オイルフィルターなし)			●			
エンジンオイルの交換(オイルフィルター込)				●		
注油ピボット点			●			
ブレーキ操作の点検	●					
風よけの清掃		●				
エアフィルターとプレクリーナーの清掃		●				
エアクリーナーの紙カートリッジ交換					●	
エンジン冷却フィンの清掃				●		
スパークプラグの交換					●	
タイヤの空気圧点検	●					
燃料フィルターの交換						●
バッテリーの充電(最低 12.4 ボルト)	●					
バッテリーと端子の清掃			●			
マフラーの点検				●		

使用者立会システムと後退操作システム (ROS)

使用者立会システムと後退操作システムが適切に作動することを確認ください。トラクターが説明書に記述されているように機能しない場合は、すぐに不具合を修理してください。

- ブレーキペダルを一杯まで踏み込み、クラッチ装着コントロールが解除の位置にない限り、エンジンを始動しないでください。

使用者立会システムの点検:

- エンジンがかかっている時に操縦者が駐車ブレーキをかけないで座席を離れるには、エンジンを切る必要があります。
- エンジンがかかっているクラッチ装着中である場合に、使用者が座席を離れるには、エンジンを切る必要があります。
- 使用者が座席に着く前に、クラッチ装着を操作しないでください。



後退操作システム (ROS) の点検:

- イグニッションスイッチをエンジン「オン」の位置に回してエンジンを始動しアタッチメントクラッチをつないだ場合、使用者がシフトを後退に入れようとするとエンジンが停止しなければなりません。
- イグニッションスイッチをROS「オン」の位置に回してエンジンを始動しアタッチメントクラッチをつないだ場合、操縦者がシフトを後退に入れてもエンジンが停止しないでください。

ブレード

最良の結果を得るためには、芝刈ブレードを鋭利に保つ必要があります。曲がったり破損したブレードは交換してください。目立てはやすりか研削ディスクで実施できます。

注意: アンバランスにならないように両方のブレードを同等に目立てることが、非常に重要です。

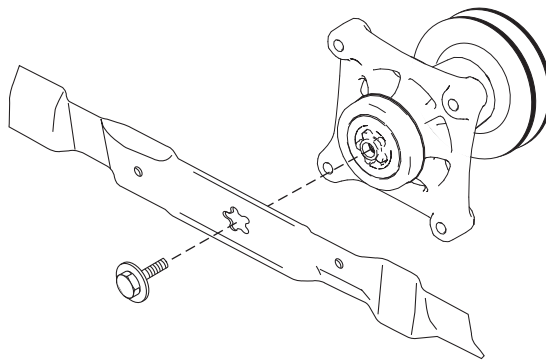
ブレードの取り外し:

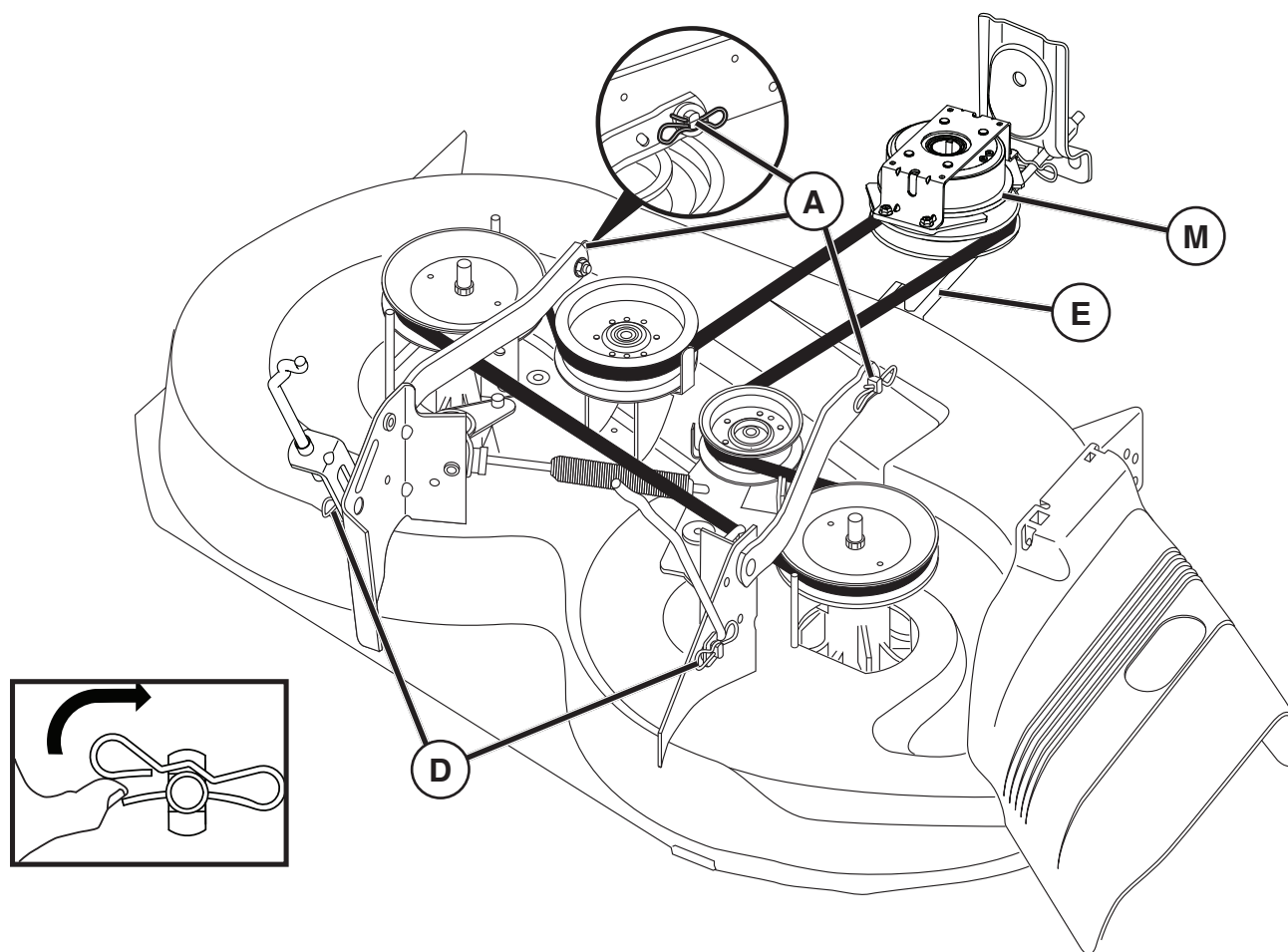
- ブレードに近づくために、芝刈機を一番高い位置まで持ち上げる。
- ブレードを留めているブレードボルトを外す。
- 図に示すように、トレーリングエッジをデッキの方に向けて新品または目立てしたブレードを取り付ける。

重要: 適切に組み付けるには、ブレードの中心穴がマンドレルアセンブリの星形に合っている必要があります。

- ブレードボルトを再び取り付けしっかり (62-75 Nm) 締め込む。

重要: 特殊ブレードボルトは、熱処理済グレード 8 です。





芝刈機の取り外し

- クラッチ装着を「DISENGAGED」の位置にする。
- アタッチメントリフトレバーを一番下の位置まで下げる。

⚠ 注意: ベルトテンションロッドは、ばね押上げ式です。ロッドの上をしっかりとつかんでゆっくり離します。

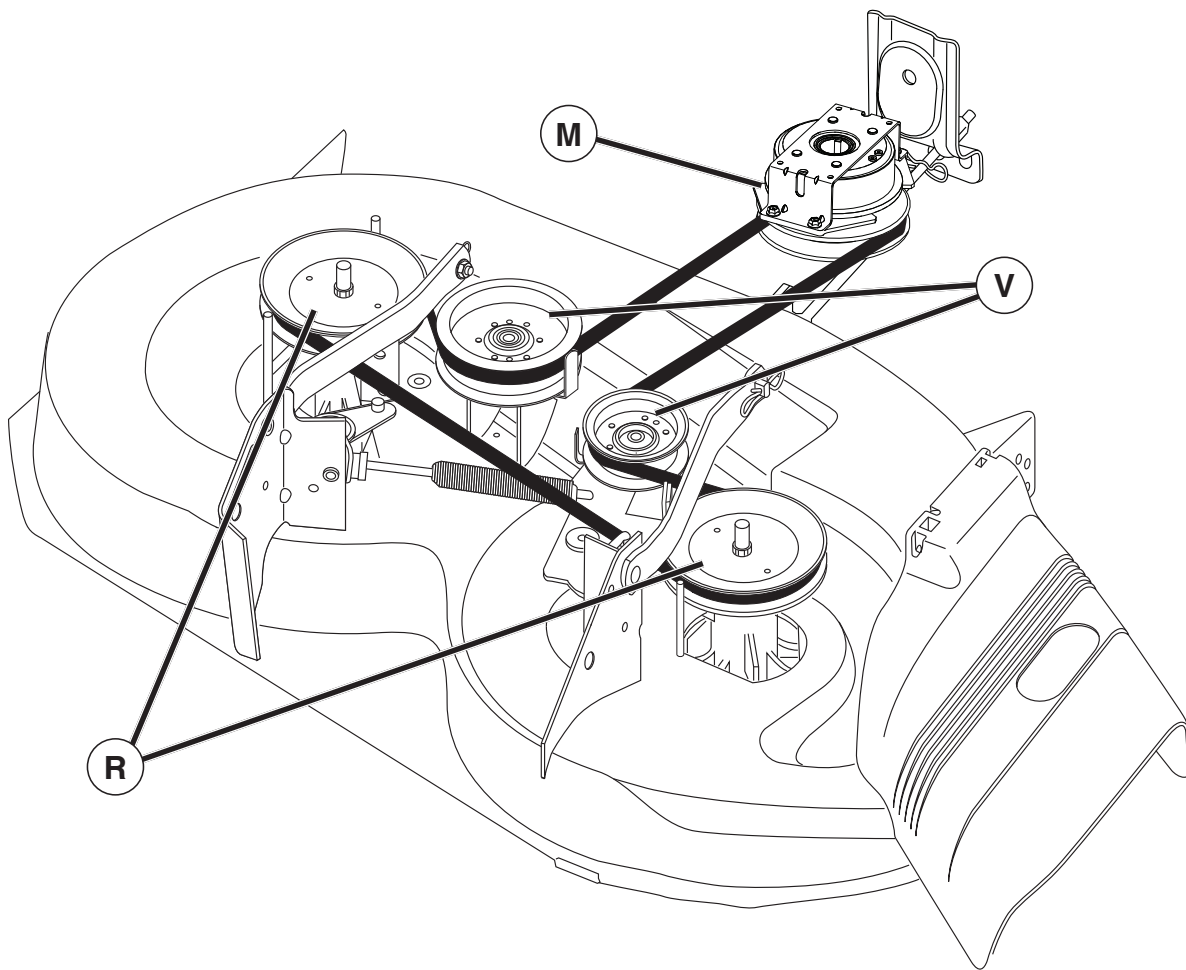
- 芝刈機のベルトをクラッチプーリーから取り外す。
- リテーナーズプリング(E)を取り外し、レバーを外す。
- リテーナーズプリング(A)を取り外し、レバーを外す。
- リテーナーズプリング(D)を取り外し、レバーを外す。

⚠ 注意: アタッチメントリフトレバーは、ばね押上げ式です。ロッドの上をしっかりとつかんでゆっくり離します。

- トラクターの右下側から芝刈機をスライドさせて外す。

カッティングユニットの組み付け

- 本機下側にカッティングユニットを押し込む。排出口が右側にくるようにする。
- 取り外す時は逆の手順に従う。



芝刈機ドライブベルトの交換

芝刈機ドライブベルトの取り外し

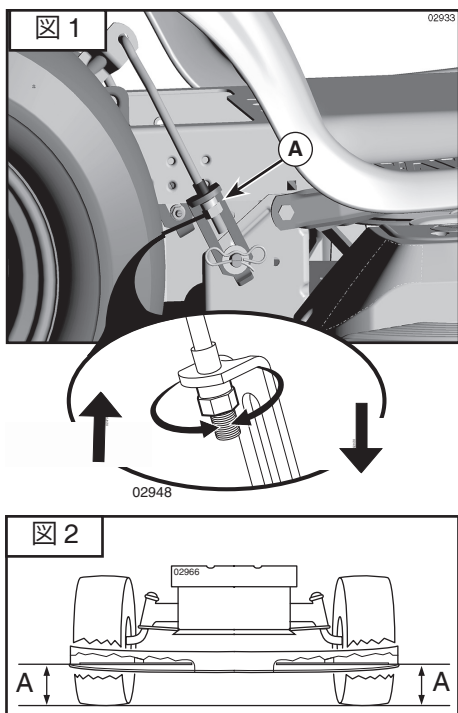
1. トラクターを水平面に駐車します。駐車ブレーキをかけます。
2. アタッチメントリフトレバーを一番下の位置まで下げます。
3. マンドレルや上デッキ表面全体に蓄積した汚れや刈り取った草を取り除きます。
4. クラッチプーリー (M)、両側のマンドレルプーリー (R)、すべてのアイドルプーリー (V) からベルトを外します。

芝刈機ドライブベルトの取り付け

1. 図示のように、両側のマンドレルプーリー (R) とアイドルプーリー (V) 廻りにベルトを取り付けます。
2. クラッチプーリー (M) にベルトを取り付けます。

重要：ベルトがすべての芝刈機プーリー溝を通して適切に経路設定されていることを確認します。

3. アタッチメントリフトレバーを一番高い位置に上げます。



芝刈機を水平に保つには

タイヤはタイヤ表面に表示の PSI 空気圧を適切に保つ必要があります。タイヤの空気圧が低すぎたり高すぎたりすると、芝刈の見栄えに影響し、芝刈機の調整が悪いのかと考えることとなります。

目視による左右の調整

- すべてのタイヤの空気圧が適切で、芝が均一に刈り取られていない場合は、芝刈機のどちら側が低く刈られているか見定めます。

注意：お好みで、芝刈機の低い方を上げることも高い方を下げることができます。

- 芝刈機の、調整したい側へ行く。
- 3/4 インチまたは調整レンチでリフトリンク調整ナット (A) を左に回して芝刈機を下げるか、右側に回して芝刈機を上げます (図 1)。

注意：調整ナットを一回転させることに芝刈機の高さは約 3/16 インチ変わります。

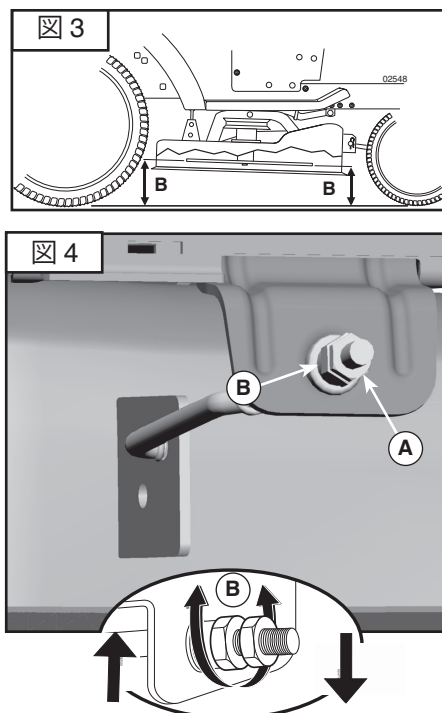
- 刈り取り前の草を少し刈ってみて、見栄えを点検します。刈り取り結果に満足するまで、必要に応じて再調整します。

正確な左右調整

- すべてのタイヤの空気圧を適切にし、トラクターを水平な地面や道路に駐車します。

注意：ブレードは鋭利です。手に手袋をはめ、ブレードを厚布で覆ってください。

- 芝刈機を一番高い位置に上げます。
- 芝刈機の両側にブレードを取り付け、ブレードのエッジ底から地面までの距離 (A) を測ります。両側の距離は同じでなければなりません (図 2)。
- 調整が必要な場合は、上記の「目視調整」ステップ 2 および 3 を参照してください。
- 再測定し、必要ならば両側の距離が同じになるまで調整します。



前後の調整

重要：デッキは左右水平でなければなりません。

最良の刈り取り結果を得るためには、刈取機が一番高い位置にある時、前端が後ろ端より 1/8 インチ～1/2 インチ低くなるように芝刈機ブレードを調整する必要があります。

注意：ブレードは鋭利です。手に手袋をはめ、ブレードを厚布で覆ってください。

- 芝刈機を一番高い位置に上げます。
- チップが真っ直ぐ前に向くようにブレードの位置を定めます。ブレードの前端と後ろ端で、地面との距離 (B) を測ります (図 3)。
- ブレードの前端が後ろ端より 1/8 インチ～1/2 インチ低くなっていない場合は、トラクターの正面に行きます。
- 11/16 インチまたは調整タイプのレンチで、薄口ナット A を数回回してゆるめ、調整ナット B を調整可能にします。
- 3/4 インチまたは調整タイプのレンチで前側リンク調整ナット (B) を時計方向 (締め込む) に回して芝刈機の前側を上げるか、反時計方向 (ゆるめる) に回して芝刈機の前側を下げて (図 4)。

注意：調整ナットを一回転させることに芝刈機の高さは約 1/8 インチ変わります。

- 再測定し、必要ならばブレードの前端が後ろ端より 1/8 インチ～1/2 インチ低くなるまで調整します。
- 調整ナットをレンチで定位置に支え、薄型ナットをしっかりと調整ナットに締め込みます。

作動ドライブベルトの交換

トラクターを水平面に駐車します。駐車ブレーキをかけます。保守点検を容易にするために、左フットレスト底にベルト設置ガイドステッカーがあります。

ベルトの取り外し

1. 芝刈機を取り外す（取扱説明書の本章内「芝刈機を取り外し」の項参照）。

注意：作動ドライブベルト全体と、すべてのベルトガイドおよびベルト通し位置をよく見てください。

2. クラッチワイヤハーネス (A) を外す。
3. トラクター右側の回り留めリンク (B) を外す。
4. 固定アイドラ (C) とクラッチアイドラ (D) からベルトを外す。
5. センターパンアイドラ (E) からベルトを外す。
6. ベルトの緩みをトラクター後ろ側に引っ張る。トランスミッション入力プーリーと冷却ファンブレード (F) から、ベルトを上に向かって注意深く取り外す。
7. エンジンプーリーと電気クラッチ (G) 周りからベルトを下に向かって取り外す。
8. ベルトをトラクター後ろ側に向かってスライドさせてステアリングプレート (H) から外し、トラクターから取り外す。

ベルトの取り付け

1. ステアリングプレート (H) を越し、クラッチブレーキペダルシャフト (J) の上に、新しいベルトをトラクターの後ろ側から前側へ取り付け。
2. トラクターの前側に向かってベルトを引っ張り、電気クラッチ周り（エンジンプーリー (G)）に巻き付ける。
3. ベルトをトラクター後ろ側に引っ張る。注意深くベルトを下に下げ、トランスミッション冷却ファン周り（入力プーリー (F)）に取り付ける。ベルトがベルト通しの中を通っているのを確認する。

4. センターパンアイドラ (E) にベルトを取り付ける。
5. 固定アイドラ (C) とクラッチアイドラ (D) にベルトを取り付ける。
6. トラクター右側に回り留めリンク (B) を再び取り付け。しっかりと締め込む。
7. クラッチハーネス (A) を再接続する。
8. ベルトがすべてのプーリー溝にはまり、すべてのベルトガイドとベルト通しの内側を通っていることを確認する。
9. 芝刈機を取り付ける（取扱説明書の本章内「カッティングユニットの組み付け」の項参照）。

ブレーキの点検

トラクターが、平らで乾いたコンクリートまたは舗装面上で、最高ギアおよび最高速度で停止するのに5フィート以上必要な場合は、ブレーキの保守点検が必要です。

次の方法でもブレーキの点検ができます。

1. トラクターを平らで乾いたコンクリートまたは舗装面上に駐車し、ブレーキペダルを踏み込んだままで駐車ブレーキをかける。
2. フリーホイールコントロールを「トランスミッション解除」位置に置き、トランスミッションを解除する。フリーホイールコントロールを引きスロットに入れて離すと、解除位置に保たれる。

手でトラクターを前へ押そうとすると、後輪はロックしてスリップするはずです。もし後輪が回転するなら、ブレーキは保守点検が必要です。認定のサービスセンターにお問い合わせください。

メンテナンス - 変速装置

適切に冷却されるように、ファンとトランスミッションの冷却ファンは清潔に保つ必要があります。

エンジン回転中やトランスミッションが熱いうちに、ファンやトランスミッションの清掃をしないでください。

- 冷却ファンを点検し、ファンブレードが無傷で清潔であることを確認する。
- 冷却フィンに泥や刈り取った草やその他の物質がついていないか点検する。

変速装置ポンプ作動液

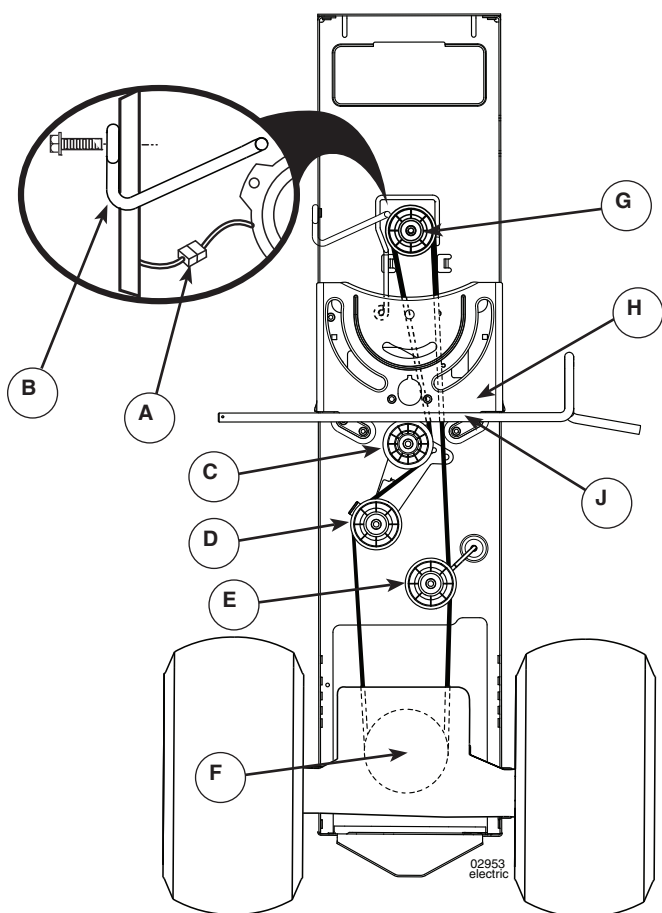
変速装置は工場で密閉されており、注油メンテナンスは不要です。変速装置から漏れがあったり保守点検が必要な場合は、お近くの認定サービスセンター／部門にお問い合わせください。

保守点検管理／時間計

保守点検管理にはエンジンの総作動時間が表示され、エンジンや芝刈機の保守点検時期をお知らせします。作業 50 時間ごとにオイル缶アイコンが2時間または手動でリセットされるまで表示されます。表示を手動でリセットするには、イグニッションスイッチをオンの位置に回したあとオフの位置に回すのを5回繰り返します（オンに1秒、オフに1秒）。エンジンおよび芝刈機の保守点検については、この使用説明書の「メンテナンス」の項を参照してください。

注意！

保守点検管理は、イグニッションキーが「STOP」以外の位置にある時実行されます。正しく読み取るために、エンジンが作動していないときは必ずキーを「STOP」の位置に置いてください。



デッキの洗浄口

トラクターのデッキには、デッキ洗浄システムとして、表面に洗浄口が装備されています。ご使用後はいつもこの洗浄口を利用ください。

- トラクターを、水栓から庭用ホースで届く位置の、平らで開けた場所に移動する。

重要: トラクターの排出口が、家、車庫、駐車された車などに向いていないことを確認してください。(もし付けてある場合は) バグガーシュートやマルチカバーを外します。

- クラッチ装着コントロールが「DISENGAGED (解除)」の位置にあり、駐車ブレーキがかかっており、エンジンが停止していることを確認する。
- 庭用ホース(A)のノズルアダプターのロックカラーを引き戻し、アダプターを芝刈機デッキの左端にあるデッキ洗浄口(B)に押し込む。ロックカラーを離して、アダプターをノズルにロックする。

重要: ホースを引っ張ってしっかり接続されていることを確認します。

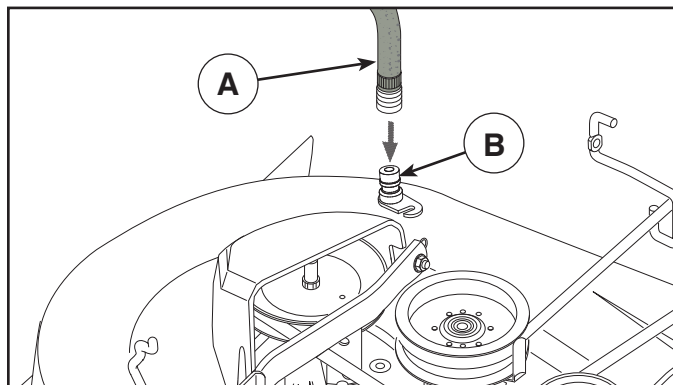
- 水栓を開く。
- トラクターの操縦席に座り、エンジンを再始動してスロットルレバーを高速「」の位置に入れる。

重要: 再度あたりを確認し、周りに何も無いことを確かめます。

- トラクターのクラッチ装着コントロールを「Engaged (つながっている)」位置に動かす。デッキの洗浄が終了するまで、カッティングデッキをつないだまま操縦席に待機する。
- トラクターのクラッチ装着コントロールを「DISENGAGED (解除)」位置に動かす。イグニッションキーを STOP 位置に回して、トラクターのエンジンを停止する。水栓を閉じる。
- ノズルアダプターのロックカラーを引き戻して、アダプターをノズル洗浄口から外す。
- トラクターを乾いた場所(できればコンクリートが舗装された場所)に移動させる。クラッチ装着コントロールを「Engaged (つながっている)」位置に置いて、余剰の水を排除し、トラクターを移動させる前に乾燥を助ける。

警告: 洗浄口のふたが破損していたり紛失していたりするとブレードに接触したものが飛んできて人が怪我をする恐れがあります。

- 再び芝刈機を使用する前に、破損、紛失した洗浄口のふたを速やかに新しいものに取り替えてください。
- 芝刈機の穴はすべてボルトやロックナットで塞いでください。



7. トラブルシューティング

エンジンが始動しない

1. 燃料タンクに燃料がない。
2. プラグの不具合。
3. プラグ接続の不具合。
4. キャブレターまたは燃料ホースの汚れ。

モーター始動でエンジンが回転しない

1. バッテリーの消耗。
2. ケーブルとバッテリーの極との接触不良。
3. 接続／解除レベルの位置が間違っている。
4. メインヒューズ切れ。
5. イグニッションロックの不具合。
6. クラッチ／ブレーキペダルの安全接点不良。
7. クラッチ／ブレーキペダルが踏み込まれていない。

不均一なエンジン回転

1. ギアが高すぎる。
2. プラグの不具合。
3. キャブレターが正しくセットされていない。
4. エアフィルターの詰まり。
5. 燃料タンクの通気孔詰まり。
6. イグニッション設定の不具合。
7. 燃料ホースの汚れ。

エンジンパワーの低下

1. エアフィルターの詰まり。
2. 寒冷始動位置でのスロットル(※)。
3. プラグの不具合。
4. キャブレターまたは燃料ホースの汚れ。
5. キャブレターが正しくセットされていない。

エンジンがオーバーヒートしている

1. エンジンへの過剰負荷。
2. 給気口または冷却フィンの詰まり。
3. ファンの損傷。
4. エンジンオイルが少なすぎるか空である。
5. イグニッション設定の不具合。
6. プラグの不具合。

バッテリーが充電されない

1. フューズの不具合。
2. 1つまたは数個のセルの不具合。
3. バッテリーの極とケーブルとの接触不良。

照明が機能しない

1. ヘッドライト配線コネクタが接続されていない。
2. バルブの不具合。
3. スイッチの不具合。
4. ケーブルの短絡。

本機の振動

1. ブレードの緩み。
2. エンジンの固定の緩み。
3. 損傷または目立て後の不均衡による、片方または両方のブレードのアンバランス。

刈り取り結果が不均一

1. ブレードが鈍い。
2. カuttingユニットのゆがみ。
3. 芝が長い、濡れている。
4. カバー下に草が詰まっている。
5. 左右でタイヤの空気圧が異なる。
6. ギアが高すぎる。
7. ドライブベルトが滑っている。

8. 保管

芝刈セッション終了時は、次の手順に従ってください。

- 本機全体を、特にカuttingユニットカバー下は念入りに掃除します。清掃には高圧水を使用しないでください。エンジンやトランスミッションに水が入り、本機の耐用年数を縮める恐れがあります。
- 錆の発生を避けるために、剥げた塗装面はタッチアップする。
- エンジンオイルを交換する。
- 燃料タンクを空にする。エンジンを始動し、燃料がなくなるまで回転させる。
- スパークプラグを取り外して、スプーン1杯のエンジンオイルをシリンダーに注油する。オイルを行き渡らせるためにエンジンを止める。スパークプラグを戻す。
- バッテリーを外す。再充電し、乾燥した冷所に保管する。バッテリーを低温から保護してください。
- 本機は屋内の乾燥して埃のない場所に保管しなければなりません。

警告!

清掃に決してガソリンを使用しないでください。代用として脱脂洗浄剤と温水を使用してください。

サービス

注文の際には、次の情報が必要です。

芝刈機の購入日、モデル名、型、製造番号。常に純正のスペアパーツをご使用ください。保証サービスや修理については、お住まいの地域の販売ディーラーにお問い合わせください。

05/20/2015 CL